

平成25年第2回定例会会議録

招 集 年 月 日	平成25年3月12日（火曜日）			
招 集 場 所	伊江村議会議事堂			
開 議	3月22日 10時00分 亀里敏郎議長宣言			
閉 会	3月22日 10時28分 亀里敏郎議長宣言			
出 席 議 員 （ 応 招 議 員 ）	1	亀 里 敏 郎 議 員	7	内 田 竹 保 議 員
	2	内 間 広 樹 議 員	8	知 念 一 邦 議 員
	3	仲宗根 清 夫 議 員	9	名 嘉 實 議 員
	5	島 袋 義 範 議 員	10	友 寄 祐 吉 議 員
	6	山 城 克 己 議 員	11	渡久地 政 雄 議 員
欠 席 議 員				
本会議に職務のため出席した者の職氏名	議会事務局長 島田勝雄君 主 査 山城佐百合君			
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	副 村 長	島 袋 秀 幸 君	教 育 長	名 城 政 英 君
	総 務 課 長	西 江 正 君	建 設 課 長	並 里 晴 男 君
	教育行政課長	大 城 強 君	農林水産課長	古 堅 和 昌 君
	会計管理者	内 間 常 喜 君	農林水産課参事	知 念 吉 久 君
	公営企業課長	具志川 豊 秀 君	福祉保健課長	金 城 和 廣 君
	商工観光課長	宮 里 徳 成 君	住 民 課 長	知 念 貞 博 君
	政策調整室長	宮 城 弘 和 君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	宮 里 政 喜 君
	総務課長補佐	新 城 米 広 君	農林水産課長補佐	西 江 忍 君
議事日程及び会議に付した事件	別紙のとおり			
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

平成25年第2回伊江村議会定例会議事日程（第7号）

平成25年3月22日（金）午前10時00分 開 議

日程	議案番号	件名
第1	議案第4号	平成25年度伊江村一般会計予算（討論・採決）
第2	議案第5号	平成25年度伊江村診療所特別会計予算（討論・採決）
第3	議案第6号	平成25年度伊江村国民健康保険特別会計予算（討論・採決）
第4	議案第7号	平成25年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算（討論・採決）
第5	議案第8号	平成25年度伊江村水道事業会計予算（討論・採決）
第5	議案第9号	平成25年度伊江村船舶運航事業会計予算（討論・採決）
第7	意見書第1号	T P P 交渉への参加反対に関する意見書（案）

○ 議長 亀里敏郎君

ただいまから第2回伊江村議会定例会11日目の会議を開きます。 (開議時刻10時00分)

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入ります。

日程第1 議案第4号 平成25年度伊江村一般会計予算についてから、日程第6 議案第9号 平成25年度伊江村船舶運航事業会計予算までの6件を一括議題とします。

お諮りします。本案6件に関する委員長報告は、お手元に委員会審査報告書を配付してありますので、会議規則第41条第3項の規定により、省略したいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕異議なしと認めます。したがって委員長報告は、省略することに決定しました。

議案第4号討論を行います。

まず、原案に反対する者の発言を許します。9番 名嘉 實議員。

○ 9番 名嘉 實 議員

平成25年度伊江村一般会計予算案に反対する立場から討論を行います。

本予算額は、前年度比11.46%6億7,600万円の減となっています。農林水産業費で約2億6,300万円、これは溜池建設終了によるものであります。土木費で約2億8,100万円、東保育所建設終了による。消防費で約3,500万円、消防自動車購入済みによるもの。教育費で約6億円、西小学校建設終了による。公債費で約1,700万円の減となっている反面、総務費では4億5,100万円人工透析施設建設費等の増等によるものです。

総務費では、真謝区に対する分遣隊移設特別助成金として24年度同様1,000円の費目存置がなされています。私は24年度予算案の反対討論で、真謝区の総会で決議された「米軍施設移設に断固反対する」決議が生きている以上、わずかばかりの助成金で決着を図ろうとすることに反対し、費目存置の除去を求めました。真謝区の「米軍施設に断固反対」する総会決議が撤回されていない以上、屁理屈をつけて新しい施設建設を要求する米軍に屈せず、移設計画は白紙に戻すべきだと考えます。

企画費で、人工透析施設建設費が計上されました。関係者の長い間の懸案事項がやっと実現でき、患者本人はもちろんのこと、家族の経済的・精神的・肉体的負担が軽減されるものと確信するものであります。

教育費では、第3子以降の給食費が免除されることになりました。学校給食が「食育」として教育の一環に位置づけられている現在、「給食費の完全無料化」を国や県にも働きかけていくべきだと考えます。また、高校生に対する支援金が月2万円に増額されました。教育費の保護者負担軽減の点で前年度に次ぐ支援費の増額であり、評価するものですが、高校生への仕送りが1カ月約10万円かかると言われている現在、本島との負担格差を解消するために、なお一層の支援を国や県にも働きかけていくべきだと考えます。

障害者が村外に出かけるときの車輛航送料金の軽減については、当初予算には計上されていませんが、年度内に実施できるよう村長の施政方針で述べられました。できるだけ早い時期の予算化を望むものであります。

本予算案にも自衛官募集業務委託金が計上されました。安倍内閣は、国際情勢の悪化を理由に自衛隊の戦力を強化し「国防軍」に改名して、米軍との「集团的自衛権」が行使できるようにするために憲法9条も変える方針に突き進んでいます。国際的な紛争は軍事力でなく外交で解決していくというのが憲法の精神であり、軍事力には軍事力でという対応では、再び戦争の道に行き着いてしまいます。村当局には、平和憲法とそれに基づいて宣言した「非核平和むら宣言」の精神をしっかりと引き継ぎ行政運営を行うことを求めるものであります。政府が右翼化の道をひた走ることには歯止めをかけるうえでも、自衛官の募集業務委託金は返上すべきだと考えます。

以上で、平成25年度一般会計予算案に対する反対討論とします。

○ 議長 亀里敏郎君

次に、原案に賛成する者の発言を許します。7番 内田竹保議員。

○ 7番 内田竹保議員

平成25年度伊江村一般会計予算案に賛成の立場で討論を行います。

甚大な被害を受けた東日本大震災から2年が経過しました。しかしいまだ数千名の方々が行方不明であり、また瓦れき処理や原発問題が一向に解決できない状況にあり、一日も早い復興を祈るものであります。

このような中、本県・本村においては、相次ぐ台風の襲来により農作物や倉庫、家屋に大きな被害が出ました。自然災害とはいえ今後防潮・暴風対策に関係機関が連携して取り組む必要が考えられます。

長年懸案でありました人工透析の医療開設に向け、施設建設が本年度着工の運びとなりました。これは画期的であります。これまで沖縄本島での治療を余儀なくされた患者の皆さんの経済的、精神的負担が軽減されることを願うものであります。

農業面においては、堆肥センターがいよいよ4月から運用開始となり地力の増進と地下ダム工事も平成27年度で事業完了予定であり、安定的農業生産の向上に期待しております。しかし国において安倍総理はTPP交渉に参加を表明いたしました。農産物が聖域なき完全撤廃の対象から除外される保証はないわけであり、この後TPP交渉への参加反対に関する意見書が提出されておりますが、全会一致の可決により、農業を守る観点から絶対に阻止しなければなりません。

本定例会において、各議員から意見、提案がいくつかありました。当局においては、真摯に耳を傾けて今後の行政施策に反映を望むものであります。

いくつか取り上げましたが、施政方針では主要施策13項目の方針が示されました、「互いに支え合い、誇りを持って、豊かな気持ちで暮らしを続ける村」の実現に向けて行政、議会が一緒になって取り組まなければなりません。

最後に、昭和43年入職以来、企画課長・経済課長をはじめ、収入役、助役、そして村長2期歴任された大城勝正村長が任期をもって勇退されます。

難題をきわめた黒糖工場の構築、堆肥センターの施設整備、人工透析施設の新年度着工等多くの実績があります。本村発展のために御尽力された功績は、多大なものがあり、敬意を表し後世に語られるものと確信します。残念ながら本日、本席への出席ができませんでしたが、1日も早く回復され、復帰を望むと同時に、勇退後も村政へのアドバイザーとして、御提言されますようお願い申し上げます。

以上、申し上げて、平成25年度伊江村一般会計予算案に賛成討論といたします。

○ 議長 亀里敏郎君

ほかに討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

これで討論を終わります。

議案第4号 平成25年度伊江村一般会計予算を採決します。

本案に対する委員長の報告は、可決です。

本案は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。〔起立多数〕

起立多数です。したがって議案第4号 平成25年度伊江村一般会計予算は、委員長の報告のとおり可決されました。

議案第5号、討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第5号 平成25年度伊江村診療所特別会計予算を採決します。

本案に対する委員長の報告は、可決です。

本案は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第5号 平成25年度伊江村診療所特別会計予算は、委員長の報告のとおり可決されました。

議案第6号、討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第6号 平成25年度伊江村国民健康保険特別会計予算を採決します。

本案に対する委員長の報告は、可決です。

本案は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第6号 平成25年度伊江村国民健康保険特別会計予算は、委員長の報告のとおり可決されました。

議案第7号、討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第7号 平成25年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算を採決します。

本案に対する委員長の報告は、可決です。

本案は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第7号 平成25年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算は、委員長の報告のとおり可決されました。

議案第8号、討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第8号 平成25年度伊江村水道事業会計予算を採決します。

本案に対する委員長の報告は、可決です。

本案は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第8号 平成25年度伊江村水道事業会計予算は、委員長の報告のとおり可決されました。

議案第9号、討論を行います。

まず、原案に反対する者の発言を許します。9番 名嘉 實議員。

○ 9番 名 嘉 實 議員

平成25年度伊江村船舶事業会計予算案に反対する立場から討論を行います。

本予算案にも例年同様、米軍車輜及び米兵の航送計画が組み込まれています。私は、船舶運航事業で米軍車輜及び米兵の航送をしないよう求め反対し続けてきましたが、本予算についても同様の理由で反対します。米軍はオスプレイの訓練をはじめ、傍若無人なやりたい放題の訓練をしておりますが、このような訓練に反対する上でも米軍の航送はすべきではありません。本年度予算案の営業収益は5億5,553万円となっていますが、米軍関係の航送収益実績は、平成24年度で約600万円であり、全体の約1%にすぎず、微々たるもので船舶会計にとって、なくてはならないものではありません。

以上、反対討論とします。

○ 議長 亀 里 敏 郎 君

次に、原案に賛成する者の発言を許します。7番 内田竹保議員。

○ 7番 内 田 竹 保 議員

平成25年度伊江村船舶運航事業会計予算案に賛成討論を行います。

昨年新フェリー「いえしま」が就航し、バリアフリー化や近代的設備、スタビライザー設置による横揺れ

防止策が整い、心地よい船旅であると村内外から好評であります。

また、沖縄振興一括交付金（離島住民交通コスト負担軽減事業・仮称）も平成25年度も継続され、割引運賃で大幅な負担軽減で、離島である村民にとっての経済効果は計り知れないものがあります。

議会で質疑もありましたが、村民からすでにフェリー「ぐすく」の代船時期はいつになるのかが話題であります。莫大な予算が伴うものであり、早期の計画は困難かと思いますが、より早い時期に代船が実現できるように願うものであります。

燃料価格の流動化、高騰が続く中で、修学旅行生がますます増え、今後とも安定した事業経営が見込まれることから本案に賛成し、討論といたします。

○ 議長 亀里敏郎君

ほかに討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

これで討論を終わります。

議案第9号 平成25年度伊江村船舶運航事業会計予算を採決します。

本案に対する委員長の報告は、可決です。

本案は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。〔起立多数〕

起立多数です。したがって議案第9号 平成25年度伊江村船舶運航事業会計予算は、委員長の報告のとおり可決されました。

日程第7 意見書第1号 TPP交渉への参加反対に関する意見書（案）を議題とします。

本案は、提出者 知念一邦議員、賛成者 山城克己議員から提出されております。

本案について、提案理由の説明を求めます。8番 知念一邦議員。

○ 8番 知念一邦議員

意見書第1号について、提案理由を申し上げます。

本意見書は、町村議会により依頼があり、本議会の議会運営委員会の採択を得ての提案であります。

それでは、本文を読み上げて提案いたします。

TPP交渉への参加反対に関する意見書（案）

TPP交渉（環太平洋連携協定）について、安倍総理は、去る2月22日の日米首脳会談を終えて、「『聖域なき関税撤廃』が前提ではないとの認識に立った」とし、3月15日に交渉への参加を表明した。

しかしながら、我が国の農産物が関税撤廃の対象から除外される保証はなく、このままでは、我々は国の将来や農業の存亡に関する不安を拭い切れず、政府の拙速な交渉参加を断じて容認することはできない。

TPPは、例外なき関税撤廃を前提としているだけでなく、国民のいのちと健康を守る医療制度や食の安全・安心の基準等についても改悪を余儀なくされ、さらに、外国企業が国を訴えるISD（投資家対国家間の紛争解決）条項が導入される危険性から、国家主権にも関わる重要な問題である。

とりわけ、国境離島を抱える本県においては、農業に限らず定住社会の維持そのものに深刻な影響を及ぼすことが懸念されている。

よって本議会は、本県の魅力ある農業・農村・地域社会を守り、多くの県民が安心して暮らせる豊かな社会づくりの実現のため、国民の暮らし及び地域の実情を無視した拙速なTPP交渉への参加表明に強く抗議するとともに、下記事項の実現を図るよう、強く要請する。

記 1. 拙速なTPP交渉参加表明直ちに撤回すること

先の日米首脳会談では、全ての品目が交渉対象とされること、包括的で高い水準の協定を達成していくこと、日米ともに慎重な対応を求める重要品目の存在を認識しつつも最終的な結果は交渉の中で決まっていくものであることが確認されたに過ぎない。

このような状況において、安倍総理がTPP交渉への参加表明を行なったことは国民の信頼を裏切る行為であり、あまりにも拙速であり、参加表明を直ちに撤回すること。

2. 自民党が政権公約で示したTPPに関する6項目の判断基準を堅持すること

安倍総理が、「聖域なき関税撤廃が前提ではない」と認識するのであれば、我が国の農産品が関税撤廃の対象から除外される保証を確保するとともに、食の安全安心の基準や国民皆保険制度を守り、ISD条項は認めないことなど、衆議院選挙の政権公約で示したTPPに関する6項目の判断基準を堅持すること。

3. 徹底した情報開示と広範な国民的議論を実施すること

TPPの内容について、恣意的なマスコミ報道等によって農業の関税問題を矮小化されているが、本質は我が国経済及び国民生活全般にかかわる問題であり、政府が米国等と行っている事前協議の内容を含め、徹底した情報開示と広範な国民的議論を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成25年3月22日 沖縄県伊江村議会

あて先 内閣総理大臣、外務大臣、財務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、沖縄及び北方対策担当大臣、自由民主党総裁、自由民主党幹事長、自由民主党政調会長、自由民主党外交・経済連携推進本部本部長。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○ 議長 亀里敏郎君

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

質疑なしと認めます。お諮りします。

ただいま議題となっております意見書第1号については、会議規則第39条第3項の規定によって、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって意見書第1号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから意見書第1号 TPP交渉への参加反対に関する意見書(案)を採決いたします。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって意見書第1号 TPP交渉への参加反対に関する意見書(案)は、原案のとおり可決されました。

次にお諮りします。本定例会において議決された案件について、その字句、数字、その他整理を要するものについては、その整理を議長に一任されたいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。

したがって、その字句、数字その他の整理は、議長に一任することに決定しました。

これで本日の日程は、全部終了しました。

会議を閉じます。

平成25年第2回伊江村議会定例会を閉会します。大変お疲れさまでした。

(閉会時刻10時28分)

地方自治法第123条第2項の規定に基づき
ここに署名する。

伊 江 村 議 会

議 会 議 長 亀 里 敏 郎

署名議員（5番） 島 袋 義 範

署名議員（6番） 山 城 克 己